

～わたしとみんなの安全を守る「プラス防犯」～

先月号では、団体として防犯に取り組む「自主防犯団体」の活動について、ご紹介させていただきましたが、今月号では、個人でも行える防犯活動である「プラス防犯」について、ご紹介します。

プラス防犯とは！



通勤や買い物、犬の散歩やジョギングなど、日々の生活の中に「防犯の視点をプラス」することで、犯罪が起こりにくい環境をつくり、あなたやご家族、ご近所の方々の安全を守る活動だワン！

《活動の例》

- ◇ まずは「あいさつ」から
ご近所さんや、子どもたち、防犯（交通）ボランティアを見かけたら「あいさつ」をしましょう。
まずは、目を合わせてニッコリ、軽く手をあげるだけでも構いません。
※ 子どもたちには、不審者対策として、しつこく声をかけてくる人には注意するよう指導していますので、学校名、学年、名前、居住地域等の質問はしないようお願いします。
- ◇ 周囲の様子に目を配る
危険と思われる場所があったら、家族や地域の人々と共有しましょう。
不審な人物や車を見かけたら、声をかけたりせず、警察に通報しましょう。
- ◇ ご自宅やその周辺で「ながら見守り」
登下校中の子どもたちを、家から見守りましょう。玄関はもちろん、窓やベランダ、縁側からでも構いません。
また、可能であれば、登下校の時間に合わせ、花の水やりや庭の掃除など、外での用事をしながら、子どもたちを見守りましょう。

◇ わんわんパトロール運動

茂原市では、子どもの登下校時間に合わせて、ウォーキングや犬の散歩を行いつつ、子どもたちを見守る活動「わん！だふるタイム」への参加を呼びかけています。

また、現在、千葉県獣医師会では、ホームページで「わんわんパトロール隊員」の募集を行っています。



《活動の着眼点》

◇ 公園などの遊び場に異常はないか？

公園内から周囲の家の窓などが見えない場合には、誰からも見えにくいため、犯罪が発生する可能性が高くなります。

◇ 空き家・廃屋などに異常はないか？

空き家や廃屋は、犯罪の温床になりやすい場所です。また、落書きが多いと、「住民の関心が薄く、管理されていない地域」と思われ、犯罪が発生する可能性が高くなります。

◇ 高い塀が並んでいる道に異常はないか？

塀に遮られ、住民の視線が行き届かず、犯罪が発生しやすい場所となる可能性があります。

◇ 人が多い場所に異常はないか？

ショッピングセンターなど、人が多い場所は、一人ひとりの意識や関心が分散するため、犯罪の発生や子どもへの不審者の声かけなどが、気づかれにくい可能性があります。



ご自身の安全が第一です！不審な人物や車両を見かけたら、声をかけたりせず、警察に通報してください！

〈連絡先〉

茂原市役所 市民部 生活課

TEL 0475-20-1505 (月～金 8:30～17:15)